

2012年3月期 第3四半期 決算説明資料

日本光電工業株式会社

銘柄コード:6849

2012年2月7日

Fighting Disease with Electronics

1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2011/3 第3四半期 累計	2012/3 第3四半期 累計	増減率
売上高	79,276	82,846	4.5
国内売上高	64,127	67,467	5.2
海外売上高	15,148	15,379	1.5
営業利益	6,011	6,683	11.2
経常利益	5,662	6,328	11.8
純利益	3,816	3,575	△ 6.3

← 為替換算:約△7億円 (△4%)

平均レート	(2010/12)	(2011/12)
1ドル	87円	79円
1ユーロ	113円	111円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比4.5%増

- ・国内：病院、診療所市場ともに好調。全ての商品群で伸長。
- ・海外：現地通貨ベースでは全ての州で一桁後半の伸び。
中国は二桁成長を確保。円ベースでは、欧州およびアジア州は増収なるも、米州は円高の影響で微減。

営業利益：前年同期比11.2%増

- ・増収に伴い二桁増益。
- ・粗利率：コストダウン、在庫評価減の減少が寄与。
- ・販管費：研究開発費の増加、人員の増強。

四半期純利益：前年同期比6.3%減

- ・税制改正に基づく法人税率の変更などによる影響。

3)トピックス①

米国生体情報モニタ市場における顧客満足度調査で 20四半期連続No.1を獲得

- ・MD Buyline社は四半期毎に医療機関に対して顧客満足度調査を実施。
- ・米国ユーザーは、医療機器購入の際に第三者評価機関による顧客満足度調査を重視。
- ・**当社は直近のレポートにおいても全ての評価項目でNo.1を獲得。**

(2011年10月～12月、10点満点、対象ベンダー9社)

企業名	総合評価	システム性能	システム信頼性	インストール作業	トレーニングサービス	サービスレスポンス	サービス品質
日本光電	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7
2位	9.6	9.7	9.6	9.4	9.7	9.7	9.5
⋮							
9位	8.7	8.6	8.8	8.4	8.6	8.9	8.6

【MD Buyline社について】

米国のヘルスケア関連の市場調査会社。ヘルスケア関連施設に対して設備購入時の意志決定の支援を行う。

3)トピックス②

Prefense™の販売状況

- Prefense専任営業員を増員(12月末現在:8名)。
 - Prefenseを導入した著名施設とのタイアップ(共同研究、施設見学)。
 - Prefenseをドアオープナーとして、ICUやCCU等の重症系モニタ商談(包括商談)に注力。
- 2012年1月末現在で受注累計が10セットと回復の兆し。
全てが新規顧客からの受注。
シナジー効果で大口の重症系モニタ商談も受注。

Prefense™とは

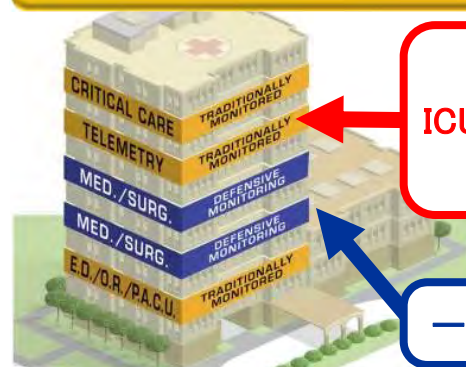


40台の送信機NTXと連携し、**効率的な看護が可能**な、新しいコンセプトの集中モニタリングシステム。

NTX

心電図、呼吸、SpO2の他、**世界で唯一**、非観血血圧の測定・送信が可能。

重症系モニタ商談へ拡大



ICU/CCU

Prefenseによる相乗効果

- ・新規顧客の獲得
- ・包括商談の受注

一般病棟

Prefense™

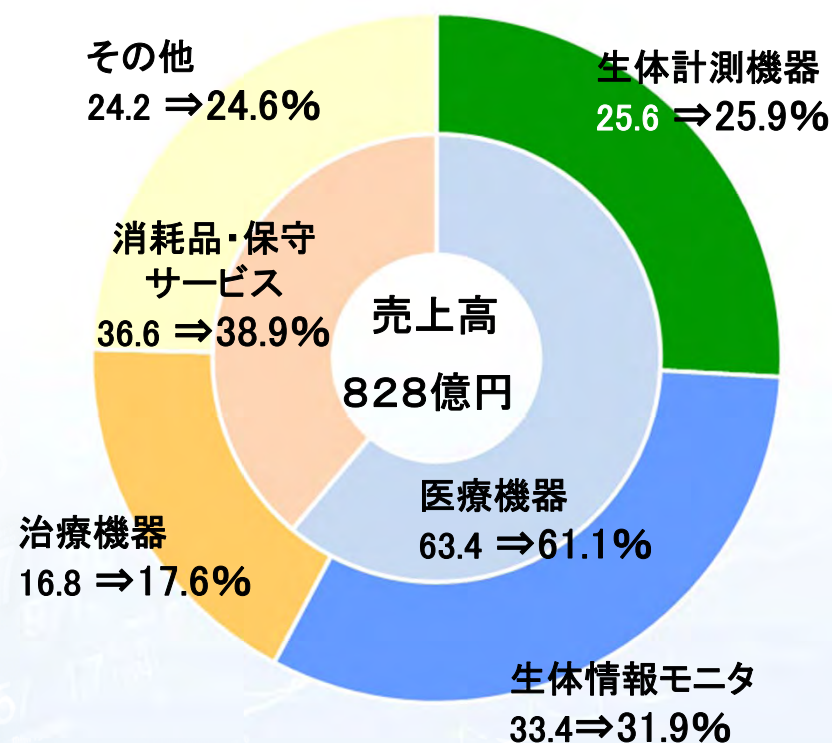
4) 商品群別売上高

(単位:百万円)

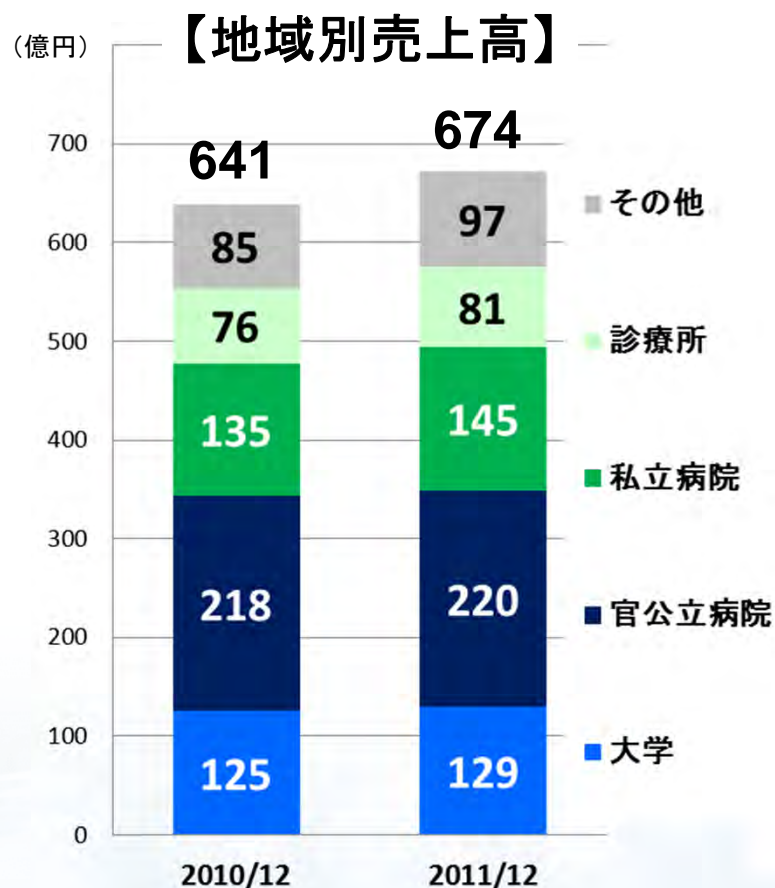
	2011/3 第3四半期 累計	2012/3 第3四半期 累計	増減率
生体計測機器	20,273	21,435	5.7
生体情報モニタ	26,475	26,448	△ 0.1
治療機器	13,293	14,595	9.8
その他	19,233	20,367	5.9
売上高合計	79,276	82,846	4.5
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	28,992	32,200	11.1

商品群別売上構成比

(2010/12 ⇒ 2011/12)



5) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2011/3 第3四半期 累計	2012/3 第3四半期 累計	増減率
生体計測機器	16,388	17,250	5.3
生体情報モニタ	19,132	19,408	1.4
治療機器	11,668	12,699	8.8
その他	16,938	18,109	6.9
売上高合計	64,127	67,467	5.2

【市場別】 私立病院、診療所、PAD市場を中心に全ての市場で伸長。

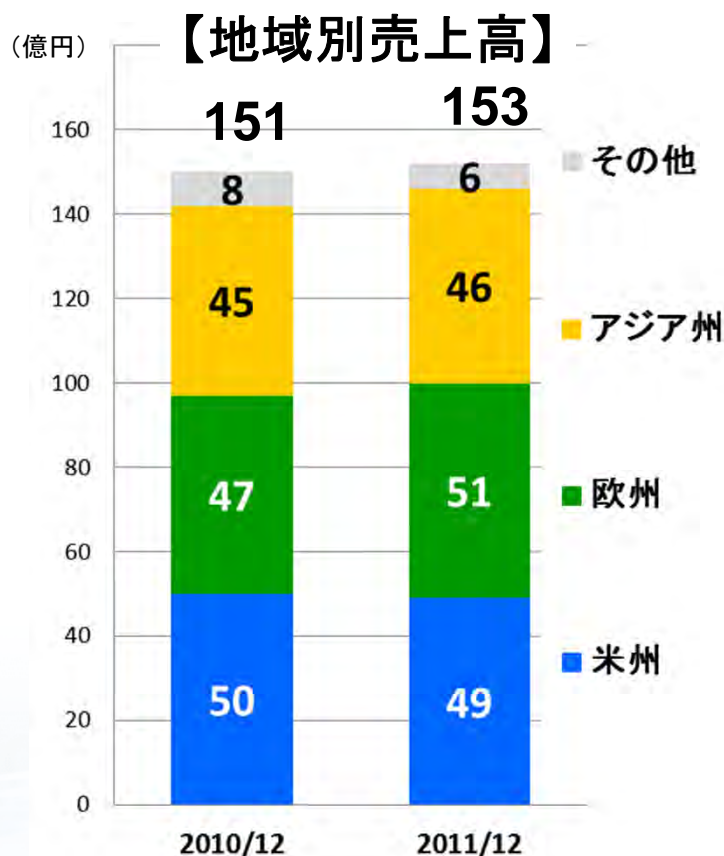
【商品群別】 生体計測機器: 診断情報システムが大幅に伸長したほか、心臓カテーテル検査装置が堅調に推移。

生体情報モニタ: 臨床情報システムは大学や官公立病院向けの商談が例年に比べて第4四半期偏重の傾向が強く低調だったものの、センサ類などの消耗品が好調に推移。

治療機器: AEDの販売が回復。医科向け除細動器やペースメーカーが好調に推移。

その他: 検体検査装置が好調に推移したほか、画像診断装置等の仕入品も伸長。

6) 海外売上高



【商品群別売上高】 (単位:百万円)

	2011/3 第3四半期 累計	2012/3 第3四半期 累計	増減率
生体計測機器	3,884	4,185	7.7
生体情報モニタ	7,343	7,039	△ 4.1
治療機器	1,624	1,895	16.7
その他	2,295	2,258	△ 1.6
売上高合計	15,148	15,379	1.5

為替換算: 約△7億円 (△4%)

- 【地域別】 米州: 中南米は堅調に推移したが、米国は円高による為替換算の影響を受ける。
 欧州: ロシア、トルコが大幅に伸長。ドイツ、フランスも前年同期実績を上回る。
 アジア州: 中国、インド、中近東が好調に推移。 その他: 政情不安により北アフリカが低調。
- 【商品群別】 生体計測機器: 全ての州で好調に推移。米州は二桁成長。
 生体情報モニタ: 欧州は好調に推移したが、米州、アジア州ともに前年同期実績を下回る。
 治療機器: 欧州、米州で医科向け除細動器が好調に推移。メラン社製の人工呼吸器も売上に寄与。
 その他: 中国で血球計数器が大幅に伸長したものの、欧州で現地仕入品が減少。

7) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2011/3 第3四半期 累計	2012/3 第3四半期 累計	増減額	2011/3 実績	2012/3 予想	
					期初	11月7日 修正
減価償却費	1,944	2,041	96	2,694	3,200	3,000
研究開発費	3,509	4,111	602	5,105	5,400	5,400

●2012/3期計画

主な設備投資:新製品の「型」投資、販促用製品、測定器・治具、ERPシステム。

研究開発費は増加。

8) 通期業績見通し

(単位:百万円)

	2011/3 実績	2012/3 予想		増減率 (%)
		期初	11月7日修正	
売上高	113,380	120,000	120,000	5.8
国内売上高	93,046	96,000	98,000	5.3
海外売上高	20,333	24,000	22,000	8.2
営業利益	10,598	11,000	11,000	3.8
経常利益	10,569	11,000	11,000	4.1
当期純利益	6,573	7,100	7,100	8.0
海外売上高比率	17.9%	20.0%	18.3%	
平均レート				
1ドル	86円	85円	79円	
1ユーロ	113円	110円	109円	

[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2011/3 実績	2012/3 予想		増減率 (%)
		期初	11月7日修正	
生体計測機器	28,189	29,600	30,000	6.4
生体情報モニタ	37,274	41,050	39,750	6.6
治療機器	19,073	19,700	20,150	5.6
その他	28,843	29,650	30,100	4.4
売上高合計	113,380	120,000	120,000	5.8
(ご参考)				
消耗品・保守サービス	40,236	42,500	43,800	8.9

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003